

少子化に備えるのではなく、 出生数増加に動く。

今なら、間に合います。



これは、みらい社会創造ラボが提案する「ミライそなえ」構想の一部です。

教育費実質無償化は、子育て支援策であると同時に、未来の市場への投資でもあります。

大学進学のために準備されていたお金の一部が消費へ回り、様々な市場に新しい活力を生み出します。

さらに出生数の増加は、未来の顧客や働き手を育てることにもつながります。

私たちは、この循環を企業の皆さまと共に考えたいと思っています。

教育費実質無償化が生み出す循環



教育費実質無償化

保育から大学まで、
学びへの不安を軽減



教育費不安の軽減

将来の教育費に対する
不安が小さくなる



消費・体験・学びへの再投資

家計にゆとりが生まれ、
様々な市場が活性化



出生数増加

子どもを持つことへの
不安を軽減



未来の顧客・働き手の増加

将来の市場と日本の担い手を育てる



日本経済の維持・成長

持続可能な経済と社会へ

教育費不安の軽減で動き出す市場

すぐに期待できる効果



外食



旅行



レジャー



習い事



学習塾
(弟妹の通塾など)



通信教育



趣味
(推し活など)



エンターテインメント
(ライブ・映画など)



地域サービス
(美容・健康・スポーツなど)

など

将来期待できる効果



ベビー用品



ベビー食品



子ども服



玩具



保育サービス



教育サービス

など

未来は、ここから動き出す

教育費への不安が軽くなれば、家計のお金は消費や体験へと動き始めます。

そして出生数の増加は、未来の顧客、未来の働き手、そして未来の市場を育てます。

私たちは、この可能性について企業の皆さまと意見交換から始めたいと考えています。



発起企業・協力企業募集

未来の顧客を育てる企業ネットワーク(準備会)

みらい社会創造ラボ

miraisocial.com